

ベートーヴェン作曲「ミサ曲ハ長調 作品 86」

四声の独唱と混声合唱・管弦楽のための作品。1807年(36歳)に作曲され同年に初演、「童心の様に澄み渡った心情が表されている」と評された。この年から翌1808年にかけては「運命」「田園」などの大作が生まれ、同年ウィーンでの両交響曲の初演時には、本ミサ曲から“グロリア”と“サンクトゥス”が演奏された。

コダーイ 作曲「ミサ・ブレヴィス」

第2次大戦末期の1944年、ソ連軍がハンガリーの首都ブダペストを包囲し容赦無い空爆が行われる中、コダーイ夫妻が避難し奇跡的に被害を免れたオペラハウスの地下室で完成された。翌1945年2月、地下の楽屋で初演。グレゴリオ聖歌やパレストリーナをはじめバッハやヘンデル、またハンガリーの民謡等の幅広い影響を確認することができる。



指揮者 齋藤友香理 Yukari Saito

桐朋学園大学卒業。指揮を黒岩英臣、高関健、梅田俊明の各氏に師事。小澤征爾から指揮研修生に選ばれてSKF松本での《ヘンゼルとグレーテル》でデビュー。2013年からドレスデンでG.C.ザンドマン教授に師事。2015年、ブザンソン国際指揮者コンクールで聴衆賞とオーケストラ賞を同時受賞。その後はリール国立管を指揮し欧州デビューし、ウィーンのトーンキュンストラ管も指揮。バイエルン州立歌劇場のワーグナー《パルジファル》で、K.パトレンコのアシスタントを務めた。国内では読売日響、東京響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、札幌響、群馬響、大阪フィル、京都市響、日本センチュリー響、大阪響、兵庫県立芸術文化センター管、九州響等を指揮。

名古屋市民コーラス

1959年発足。1994年に創立35周年記念として演奏したブラームス「ドイツ・レクイエム」を契機にオーケストラ付合唱曲に本格的に取り組む現在に至る。古今歌い継がれる合唱音楽の名作をプロのオーケストラ(主として名フィル)と、毎回招聘する著名な指揮者により毎年演奏会を行っている。団員構成は三世代にわたる約180名で週一回の定期練習と月一回の日曜練習に取り組んでいる。日常練習においては新進気鋭の合唱指導者である山本高栄氏を常任指揮者として招き、熱心かつエネルギー溢る指導のもと楽しい雰囲気の中で練習を進めている。また、初心者にもわかりやすく発声の基礎から学べるように、当地で活躍する声楽家によるヴォイストレーニングを行っている。

愛知県合唱連盟合唱祭に参加、団内で愛唱歌を歌う会や小人数でアンサンブルを楽しむフェスティバルを実施するなど幅広い活動を行う。



常任指揮者 やまもとたかひで 山本高栄

熊本県熊本市出身。愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。渡米しニューヨークにて、合唱指揮法、音楽教育法を学ぶ。声楽を佐久間伸一、戸山俊樹の諸氏に師事。合唱指揮を三澤洋史、本山秀毅、雨森文也、大谷研二の諸氏に師事。小中学校・高校・大学をはじめ多数の合唱団の指導にあたる。

名古屋市民コーラスでは2022年1月より常任指揮者を務めている。

《今後の演奏会予定》

2026年10月3日(土)

◆World Peace Concert 2026 in NAGOYA

ヴェルディ作曲「レクイエム」

指揮:柳澤寿男

管弦楽:バルカン室内管弦楽団

会場:愛知県芸術劇場コンサートホール

2027年2月21日(日)

◆フィルハーモニック・ウィーン・名古屋

15周年記念演奏会出演

ベルリオーズ作曲「ロミオとジュリエット」

指揮:武藤英明

会場:愛知県芸術劇場コンサートホール

《最近の活動》

- 2016 第45回定期演奏会 J.S.バッハ「ヨハネ受難曲」
指揮:本山秀毅 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2017 第46回定期演奏会 ヴェルディ「レクイエム」
指揮:川瀬賢太郎 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2018 世界平和コンサート名古屋公演 ベートーヴェン「第九」
指揮:柳澤寿男 バルカン室内管弦楽団
- 2019 創立60周年記念演奏会 1st メンデルスゾーン「エリヤ」
指揮:角田鋼亮 名古屋フィルハーモニー交響楽団
創立60周年記念演奏会 2nd ブラームス「ドイツ・レクイエム」
指揮:下野竜也 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2022 第49回定期演奏会 K.ジェンキンス「平和への道程」
指揮:柳澤寿男 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2023 第50回定期演奏会 J.S.バッハ「ミサ曲口短調」
指揮:本山秀毅 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2024 創立65周年記念演奏会 ドヴォルザーク「レクイエム」
指揮:下野竜也 名古屋フィルハーモニー交響楽団